

ふれ愛にほうち



第13号

太田西ノ内病院広報誌・第13号

発行／財太田綜合病院附属太田西ノ内病院

編集／太田西ノ内病院広報委員会

発行日／平成16年5月

住所／郡山市西ノ内2丁目5番20号 TEL (024)925-1188

ホームページ：<http://www.ohta-hp.or.jp/>



診療科紹介

小児外科

小児外科って、一体何をしている科？今回この場をお借りして、太田西ノ内病院小児外科の紹介をさせていただきますとおもいます。

小児外科診療は現在大澤義弘

(副院長)、近藤公男(部長)、出張

医の3人で行っています。外来診

療は月曜日・土曜日の毎日(月・

木・土が午前、火・水・金が午後)

で、大澤と近藤が担当しています。

特に新患日と再来日の区別はあり

ません。手術日は火・水・金曜日

ですが、緊急手術にも随時対応し

ています。診療対象は新生児から

15歳以下の小児で、腹部内臓の外

科疾患が主体です。主な疾患とし

ては、単径ヘルニアおよびその類

縁疾患、急性虫垂炎、その他の外

科的腹痛、腸重積症、乳児肥厚性

幽門狭窄症、胆道拡張症、停留精

巢、真性包茎、皮下腫瘍等ですが、

腹部外傷や急性腹症等の緊急疾患

にも対応しております。最も手術

件数の多い単径ヘルニアにおいて

は、手術前日に入院していただき、

手術当日に退院していただく、1

泊2日体制で行っています。入院

病棟は4階B病棟で、小児科との混合病棟です。そのため小児科医との連携も容易であり、小児科疾患にも迅速かつ的確な診療が可能となっています。

当院ではNICUが平成8年か

ら整備され、新生児手術も年間20

例前後行っています。新生児疾患

としては食道閉鎖症、腸閉鎖症、

鎖肛等の先天性消化管奇形に加え、

臍帯ヘルニア、腹壁破裂、胆道閉

鎖症、横隔膜ヘルニア等の手術を

行っています。術前、術後の管理

は原則としてNICU内で行われ、

従来のICU内で管理していた頃

に比べ、治療成績は格段に向上し

ています。これも看護スタッフと

新生児科の先生方の多大なご尽力

のたまものであり、日々感謝に堪

えません。また、最近では近隣の

産科の諸先生方との連携で、横隔

膜ヘルニア、腹壁異常、腸閉鎖症

等の出生前診断例を母体搬送して

いただく症例も増えております。

これにより出生直後からの集中治

療が可能となり、良好な治療成績

をあげています。今後ご理解と

ご協力の程、お願いいたします。
福島県内での小児外科診療科は現在のところ当科、福島医大第1外科、磐城共立病院小児外科の計3施設です。そのうち当科の診療圏は中通り地方の中・南部が中心ですが、高速道路網の整備に伴い会津地方からの紹介・来院患者さんも増加傾向です。県内の交通の要所という地理的メリットを最大

限に生かし、他施設との連携を計りつつ、症例数の増加に努める所存です。
以上、西ノ内病院小児外科の診療等につき、簡単ですが紹介させていただきますが、日本の将来を担う大切な子供たちのために日々頑張っておりますので、これからもどうぞ宜しくお願い申し上げます。



小児外科スタッフ



西ノ内見聞録

6A病棟

明るくやさしく



6A病棟スタッフ

6A病棟は、脳神経外科と眼科の混合病棟で、50床を有しています。5号館の食道兼デイスベースからは四季折々の景色を見ることが出来ます。

スタッフの構成は、脳神経外科医師3名、眼科医師3名、看護師24名、ナースエイド4名で、皆、明るくやさしいメンバーです。

脳神経外科では、主に脳血管障害（脳



内出血・
脳梗塞・
脳動脈瘤
など）や
頭部外
傷・脳腫
瘍の治療
が行なわ
れています。

突然の発症で入院を余儀なくされるケースが多い事が特徴です。患者さんの多くは、その性質上意識障害や身体機能障害があります。そのため私たちは、患者さんの安全を第一に考慮しながら日常生活の援助や急性期リハビリに取り組んでいます。寝たきり「0」を目指し、排泄のケアにも力を入れています。また、平成14年4月に機械浴（臥床したままの入浴が可能）が導入され、より一層清潔ケアが充実し、床ずれの患者さんがいない事も自慢の一つです。

眼科では、主に白内障・網膜はくり・糖尿病性網膜症・緑内障の治療を行なっています。手術による治療がほとんどのため、入院期間が短い事が特徴です。

私たちは、患者さんやその御家族に安心していただけるよう明るい挨拶を心がけ、コミュニケーションを大切にしています。また、やさしさ思いやりの心を忘れず、患者さんのために何ができるのかを常に考え、看護を実践して行くために、

ここでは、西ノ内病院の各病棟・外来・その他さまざまな部署に潜入し、その全容にせまってみたいと思います。

今後も努力して行きたいと思っています。

最後に、6A病棟は、平成16年4月より脳神経外科と神経内科の病棟に再編成される事を付け加えていただきます。

（岩崎敦子）

外科外来

安心できるサービス



外科外来スタッフ

みなさん、こんにちは。スタッフの平均年齢が少し高目の外科外来です。

外科外来の診療科目は、乳腺外科、末梢血管外科、肛門外科を含む一般外科だ

けではありません。他に脳神経外科、形成外科、心臓血管外科、呼吸器外科もあります。ですから、新生児から御高齢の方まで幅広い年齢層の方が外科外来にお越しになります。それだけ多様な患者様と関わるようになりますが、外来では、関わる時間が限られてしまいます。限られた時間内で、情報を得て、適切な対応が求められます。私たちスタッフ一同、患者様の心理を理解し、思いやりのある優しい態度で接することができるよういつも心がけています。

外科外来では、形成外科のみ予約診療を行っています。形成外科以外は、待ち時間も長くなってしまいうこともあり、心苦しいところですが、そこで、患者様の待ち時間の参考にしていただきたく、各科で工夫し、診察順番の表示をしました。先日アンケートをしたところ、大半の患者様から「表示は参考になる」という回答をいただきました。また、スタッフの対応や、待合室の環境等について貴重な意見もいただきました。少しでも皆様に満足していただけるよう改善したいと思っています。

外科の医師は、外来担当日以外でも、手術等と重なっていないければ、快く診察に応じてくれています。他施設や、院内からの紹介の患者様も多く受診されています。他部署との連携をよくし、地域の皆様に安心していただけるよう、サービスの向上に努めたいと思っています。今後ともよろしく願います。

（初澤静子）

リハビリあれこれ① 総合リハビリテーションセンター

総合リハビリテーションセンターは平成14年6月より2号館、元の1病棟の後に開設されました。それ以前は本館2階の現在は眼科外来があるところになりましたが、病院の規模に比べて非常に狭く、治療室は整形外科外来の奥に別れていました。また理学療法部門しかなくその他の作業療法・言語聴覚療法などについては太田熱海病院に頼らざるを得なかったのですが、医療の高度化・病状が落ち着いてからリハビリを始めるのではなく急性期からより積極的に治療に関与していくというリハビリテーションの考え方の変化に対応するため患者様からのニーズもあり運動指導室を統合して総合センターとして設立されました。現在では理学療法士11名・作業療法士9名（身障5名、小児1名、精神科3名）・言語聴覚療法士3名・マッサージ師2名・運動指導室トレーナー4名で治療を行っています。

リハビリテーションとは何かということについて明確に答えるのは非常に難しいのですが、私がまだ医学部の学生であったときにリハビリテーション科の講義で覚えているのは、rehabilitationの語源は再び（re-）習慣づける（habilitation）であり、病氣や怪我で失われた普段行っていた様々な行為を再び習慣として行えるようにする

るのがリハビリテーションであるという考え方でした。最近では治療のみならず予防を含めたトータルリハビリテーションという理念が提唱され非常に幅広い分野で医療にかかわりを持つようになっています。「リハビリ」という言葉も広く認知されるようになり決して特殊な治療ではなく、薬を服用したり注射をしたりするのと同じような感覚になってきていますが、その反面にどんな場合にもリハビリがその効果を発揮するような思い違いをしている方々がいるようです。たとえば医者から手術を勧められたが気が進まないのでもリハビリで何とかならないかという相談を受けることがあります。どのような治療法においても同じですがその適応と限界があり万能ではなくリハビリテーションもその例外ではありません。

今回から数回にわたってリハビリテーションについてご紹介することになります。少しでも今後の業務や健康管理に役立てていただければ幸いです。

（藤野浩道）



放射線あはれな人々①

レントゲンとは、人の名前でW・C・レントゲン博士からきています。1895年に目に見えない未知なる光線を発見しX線と名付けました。レントゲン博士はこの偉大な功績で、第1回ノーベル物理学賞に輝きました。

日本ではレントゲンと言う呼び方が浸透していますが、世界的にはレントゲン博士が名付けたとおり、X線（X-ray）と呼ばれています。

「胸のレントゲン撮りましょう」「レントゲン室で写真撮って来てください」と言われて、X線依頼票を持って歩いて来ます。あれ？放射線部受付？そうですレントゲン室はありません。これでは、患者さまも混乱してしまいますよね。X線レントゲンは俗称ですが、勝手に一人歩きしています。新聞報道や職員間でも誤って使っているので注意しましょう。正しくは「胸のX線撮影検査をしましょう」「放射線部に行つてX線検査を受けて来てください」となります。

そのX線も放射線の一部で、他にα線、β線、γ線、中性子線等があります。人体に対してX線を含めた放射線を専門に扱う職業が放射線技師（正確には診療放射線技師）です。レントゲン技師やX線技師は存在しません。

X線発見から百年足らずで、その利用は医療の分野では画像診断として無く

レントゲンってなに？

はならないものとなり、現在もお検査法や検査技術が進歩し続けています。

X線検査技術は、被曝の観点からも大きく進歩しました。日本人は1年間に自然界から自然放射線を平均2.1mSv（ミリシーベルト）線量当量の単位）と言う放射線を浴びています。これに対して、胸部X線撮影では0.06〜0.3mSvの被曝となり、胃透視検査では3〜4mSv、頭部CTでは0.5mSv、腹部CTでは3〜6mSvの被曝になります。250mSvを超えない量では、医学的に症状が出ない事になりますが、安全を考えて無駄な被曝は極力抑えています。

従って、医学的に「病気の診断・治療に不可欠な検査であり、患者さまにとって利益が危険を大きく上回る」ときのみ行われる事になっています。通常のX線検査は、一般に安全で過度に恐れる必要はありません。しかし、必要な被曝は出来るだけ避けるに越した事はありません。疑問や不安がある場合は、遠慮なく医師や放射線技師にお問い合わせください。医師には説明する義務がありますし、放射線技師も国民被曝軽減に努め安全管理に十分配慮する義務があります。



国民被曝軽減に努め安全管理に十分配慮する義務があります。
（新里昌一）

新人研修医19名がオリエンテーション

今年度より新医師臨床研修制度がスタートし、当院においても19名の新人研修医を採用しました。

まずは4月5日～9日までオリエンテーションが行われました。現在各診療科に配属され毎日研修に励んでいます。オリエンテーションの様子を写真で紹介いたします。

(庶務課)



新研修医には太田院長より各々辞令が手渡された。



副院長を交えてのワークショップ



新研修医の面々

【材料】〈4人分〉

菜の花 2把 (200g)
アジ (刺身用) 10～12切れ
ドレッシング
レモン汁 大さじ11/2
粒マスタード 大さじ2
しょうゆ 大さじ3
オリーブ油 大さじ3
塩 適宜

〈1人分〉 エネルギー 153kcal
たんぱく質…1.1g 塩分…1.1g



「菜の花とアジのマスタードサラダ」

彩
食
健
美

今回はこれから旬の「アジ」と菜の花のサラダをご紹介します。一年中でまわっているアジですが旬は夏。6月から8月です。古く江戸時代から食べられていて、アジの名前の由来は「味の良さ」とも言われています。アジといえば丸干し・開きなどの干物が多いのですが旬の時期にはぜひ生でお召し上がり下さい。

たんぱく質・カルシウムは豊富ですがビタミン類が少ないので、野菜と組み合わせると良いでしょう。

菜の花は春を告げる野菜の代表ですが、栄養価も高く、ビタミンA・ビタミンCを多く含みます。鉄やカルシウムも豊富です。野菜に含まれる鉄は、非ヘム鉄でビタミンCと一緒に取ると吸収が良くなります。レモン汁をたっぷり使ったドレッシングで和えた一品です。

ぜひ、ご賞味ください。

【作り方】

- ① アジには軽く塩を全体にふりかけ、ザルにのせ15～20分冷蔵庫に入れておく。
- ② 菜の花は根元の堅い部分を切り落とし、冷水に放しシャキッとさせる。
- ③ たっぶりの熱湯に塩を入れ、菜の花をよく茹でる。冷水にとり食べやすく切り、水気を絞る。
- ④ ボウルにドレッシングの材料を合わせる。
- ⑤ 先にアジをボウルに入れて味をなじませ、菜の花を加えてサツと和える。



天田内科クリニック



長谷川皮膚科医院

トータルヘルスクリニック



オープンシステム 情報ネットワーク

太田西ノ内病院では、患者さんに質の高い医療を受けていただくために、開業医の先生方と連携をむすんでいます。ここでは、太田西ノ内病院オープンシステムの登録医療機関、登録医師のご紹介をしています。

長谷川皮膚科医院

所在地/〒963-8872

郡山市栄町8-21

電話/024-923-0821

FAX/024-923-0829

診療科/皮膚科・泌尿器科

休診日/木曜午後・日曜・祝祭日

診療時間/月・火・水・金曜日

午前 9:00~12:00

午後 2:00~ 6:00

木曜日 午前 9:00~12:00

土曜日 午前 9:00~12:00

午後 2:00~ 4:30

病床数/なし

往診・訪問診療/あり(木曜日)

登録医から

当院は昭和43年10月現在地に開業いたしました。当時は前の道路も未舗装だったことを良く覚えております。医院自体も現在の建物で三代目になります。医療を取り巻く環境もその頃とは、かなり様変わりしているように思います。そんな中で、皮膚科の治療は温故知新とでもいいましょうか。古い軟膏が効いたりすることがよくあります。

当院も最新の治療薬を試みる一方で、院長の長年の勘と実績に基づいた軟膏造りに頼っています。また、寝たきりの患者さんのために往診を行い主に褥瘡などの治療をしています。

太田西ノ内病院にはいつも大変お世話になっております。皮膚科を初め、膠原病内科、糖尿内科、末梢血管外科、小児科、形成外科といつも紹介した患者さんを快く迎えて頂いて感謝しております。これからも、どうかよろしくお願い致します。



前列中央 長谷川隆三院長・右 長谷川隆哉副院長とスタッフのみなさん

院長 長谷川隆三

昭和30年 福島県立医大卒業・同年皮膚科助手

昭和33年 いわき市竹林病院皮膚科部長

昭和35年 寿泉堂病院皮膚科部長

昭和43年 長谷川皮膚科医院開業

副院長 長谷川隆哉

昭和61年 岩手医科大学卒業・同年福島県立医大皮膚科入局

平成8年 太田西ノ内病院皮膚科部長

平成12年 現職

天田内科クリニック

所在地/〒963-8832

郡山市山根町12-27

電話/024-932-3555

FAX/024-923-1367

診療科/内科・消化器科・呼吸器科
小児科

休診日/日曜・祝祭日

診療時間/月～金曜日

午前 9:00～12:00

午後 2:00～ 7:00

(小児科: 平日午後5:30まで)

土曜日 午前 9:00～12:30



院長 天田 康
平成3年 日本大学医学部卒
平成5年 太田西ノ内病院勤務
平成11年10月 天田内科クリニック開業

理事長 天田 昭子
昭和26年 福島県立医大卒
昭和31年 太田総合病院小児科勤務
昭和41年 天田内科クリニック開業
平成11年10月 天田内科クリニック開業



前列左より2番目 天田昭子理事長・3番目 天田康院長とスタッフのみなさん

常日頃、太田西ノ内病院の先生方、スタッフの皆さんには大変お世話になって居ります。平成5年7月より7年間、太田西ノ内病院消化器科勤務後、平成11年10月に郡山市山根町に当院を開業いたしました。もともと昭和41年より同地にて現理事長が小児科医院を開業し、また、先代院長(小生の父、故人)とともに天田医院として地域医療に携わってききましたが、現在は私と理事長を中心に医師3名、看護師3名、事務3名で地域の皆様の健康管理、疾病治療をさせて頂いて居ります。患者さんを中心とした適切かつ優しい医療をモットーに、太田西ノ内病院をはじめ他病院、診療所との連携をはかり、より良質な医療の提供が出来るよう努力して参ります。今後共、よろしくお願い致します。

登録医から

トータルヘルスクリニック

所在地/〒963-8841

郡山市山崎171

電話/024-927-0305

FAX/024-927-0326

診療科/内科・産婦人科・外科・小児科・消化器科・循環器科・リハビリテーション科

休診日/水曜・祝祭日

(第1日曜日は診療いたします)

診療時間/

	午前	午後	第1日曜日・土曜日
一般診療科	9:00～12:30	14:00～17:30 18:00～20:00	9:00～17:30
	午前	午後	第1日曜日・土曜日
産婦人科	9:00～12:30	14:00～17:30 火曜日のみ 18:00～20:00	9:30～17:30



副院長 土屋 あさ子
昭和60年 帝京大学医学部卒業・昭和61年4月～平成4年3月まで 太田総合病院産婦人科勤務・平成4年4月～平成15年10月まで 土屋産婦人科部長として勤務・平成15年11月 トータルヘルスクリニック院長就任。郡山准看護高等専修学校感染と免疫講師、郡山科学技術専門学校内科学、医学概論師。

院長 土屋 繁文
昭和60年 帝京大学医学部卒業・昭和60年6月～昭和61年9月まで 太田総合病院研修医(ローテーション)・昭和61年10月～平成15年10月まで 土屋産婦人科部長、診療技術部長として勤務・平成15年11月 トータルヘルスクリニック院長就任。郡山准看護高等専修学校感染と免疫講師、郡山科学技術専門学校内科学、医学概論師。



前列左より3番目 土屋繁文院長・2番目 土屋あさ子副院長とスタッフのみなさん

当クリニックスは、医療法人慈光会の土屋病院が全館療養型病床へ転換されたのに伴い、産婦人科と一般診療の機能分化を目的に、平成十五年十一月に12床の有床診療所として開設致しました。
建物の外観から医療機関のイメージを一新し、内部もできる限り、来院された方々が心の休まる雰囲気を持てるよう配慮致しました。またより良い医療を提供できるようスタッフの充実も図り、総勢三十数名の職員で「丸」となって日々診療に取り組んでおります。一般診療におきましては、特に生活習慣病の診療に重点を置き、運動療法を指導・実践できるスペースを設けました。開設4ヶ月余り経ちましたが、延べ六百九十名の患者様に運動療法をご利用頂いております。また産婦人科に關しましては、ゆとりのあるスペースで、安心できるアットホームな出産を目指しております。その為、病室は全室病室のイメージをなくした個室とし、助産師を6名配置することで、ご利用の皆様にとって「安心」を「提供」できるように致しました。今後さらに、地域医療に貢献できるよう「すべては患者様のため」をモットーに努力していきたいと思っております。
太田西ノ内病院には、当クリニックスの院長、副院長共に研修医時代から大変お世話になっており、また、日頃は緊急患者様の受け入れから、諸検査に至るまでお願いすることができ、日々の診療で大変心強く思っております。感謝申し上げますと共に、今後の病診連携が今以上に円滑に進むようお願い申し上げます。

登録医から

★21世紀の申し子たち★

太田西ノ内病院で生まれた赤ちゃんを毎回紹介していきます。

質問

- ①生まれた時の感想
- ②名付けの理由
- ③子どもに願うこと
- ④ご両親の決意を一言

データ

いせざき ちさと
伊勢崎 千慧ちゃん

- 平成16年4月17日
15時41分生まれ
- 体重3005g
- 父：伊勢崎 充さん
母：伊勢崎史子さん



データ

おざわ ゆうと
小澤 優人くん

- 平成16年4月15日
10時33分生まれ
- 体重2755g
- 父：小澤 将了さん
母：小澤 千春さん



千慧ちゃんとお母さん

- ①やっと会えたなあと思いました。
- ②物事の本質を見極められる人に育て欲しいと思いつけました。
- ③素直にのびのびと育ってくれればと思います。
- ④せっかく私達のところでやってきてくれたので、二人で大切に守っていかなければならないなと思います。



優人くんとお母さん

- ①やっと出たー!!
うれしかった
- ②優しくとおおらかな子どもになってほしいという願いで、この名前をつけました。
- ③素直で元気な子に育てたいです。

投稿募集

太田西ノ内病院広報委員会では皆様からの原稿・写真等を募集しております。今後の広報誌に掲載してほしいものがありませんでしたら、広報委員会までご連絡下さい。

編集後記



2月の終わりの日曜日、友人への結婚祝と、花束を買いに行きました。冬物のコートやマフラーがまだ手放せないというのに、花屋には、チューリップ・フリージア・スイートピーなど色とりどりの花が、店先を飾っていました。今年初めて春を感じた一瞬でした。

春の訪れといえば、やはり桜の開花でしょう。日本の桜の三大名所（高遠・弘前城・吉野山）を御存知ですか。いつか訪ずりたいと思いつつも、まだかなわぬままの私です。県内にも三春の滝桜・福島の花見山公園・郡山の開成山公園など、桜の楽しめる所はたくさんありますね。去年は、会津若松の鶴ヶ城の夜桜を見に行きました。小雨の降る少し肌寒い夜でしたが、満開の桜がライトアップされた姿は、モヤがかかっていたせいか、幻想的でとても美しく、心の癒されるひと時でした。

昨今、私達をとりまく環境は安全ではなく、暗い話題がつきまませんね。どんな場所にも一日も早く、心の春が訪れることを祈ります。

さて、私の今年のお花見は、どこへ行くか思案中です。みなさんは、どこへ出かける予定ですか。今年も素敵な春の思い出ができますように。

(鈴木理恵)

太田西ノ内病院広報委員会

委員長 須田 秀一
委員 遠藤めぐみ・朝倉 俊成
後藤 桂子・松田美津子
荒川 幸徳・木原 均
鈴木 理恵・新里 昌一
中嶋 健起
佐藤 浩徳(幹事)